

# 日本海沿岸の地震・津波被害想定

## 被害想定の結果【定量的評価（市町村別）】



- 被害想定は、過去の災害における避難状況などに基づいて算定した推計であり、これまでの経験を活かし、家を出るまでの時間を短縮し、直ちに避難する人を増やすことで、被害は抑えられます。
- 最大クラスの津波は、数百年から数千年程度の周期で発生し、市町村ごとに影響を受ける断層も異なり、被害も異なります。
- 今後大小様々な地震や津波の発生が想定されており、正しい知識を持ち、適切に行動することが重要です。
- 被害想定は、広域的な被害の全体像を把握することを目的としており、各種の統計データを基にマクロ的に算定したものです。

○建物被害

全壊棟数(棟)、流氷の漂着等を考慮した場合の津波による全壊棟数(棟)、津波火災の出火件数(件)、屋外落下物が発生する建物数(棟)

断層モデル		建物被害(全壊)							津波火災	屋外落下物	
		揺れ	液状化	津波	急傾斜地崩壊	地震火災	合計	流氷による増加			河水による増加
F01	夏・昼	480	10	-	-	-	490	-	-	-	480
	冬・夕	940	10	-	-	-	960	-	-	-	950
	冬・深夜	940	10	-	-	-	950	-	-	-	950
F02F03 (連動)	夏・昼	40	-	-	-	-	50	-	-	-	40
	冬・夕	90	-	-	-	-	100	-	-	-	90
	冬・深夜	90	-	-	-	-	100	-	-	-	90
F03D	夏・昼	10	-	-	-	-	20	-	-	-	10
	冬・夕	40	-	-	-	-	40	-	-	-	40
	冬・深夜	40	-	-	-	-	40	-	-	-	40
F06	夏・昼	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	冬・夕	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-
	冬・深夜	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-
F06D	夏・昼	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	冬・夕	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-
	冬・深夜	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-

※ 被害が想定される断層モデルのみを記載。数値は「5以上1,000未満」は一の位を四捨五入、「1,000以上10,000未満」は十の位を四捨五入。「-」は5未満。四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

## ○人的被害

### 死者数(人)、負傷者数(人)

断層モデル		死者数					負傷者数	
		建物倒壊	津波		急傾斜地崩壊	地震火災	直ちに避難70%	直ちに避難20%
			直ちに避難70%	直ちに避難20%				
F01	夏・昼	10	-	-	-	-	130	130
	冬・夕	50	-	-	-	-	300	300
	冬・深夜	70	-	-	-	-	430	430
F02F03 (連動)	夏・昼	-	-	-	-	-	10	10
	冬・夕	-	-	-	-	-	20	20
	冬・深夜	-	-	-	-	-	50	50
F03D	夏・昼	-	-	-	-	-	10	10
	冬・夕	-	-	-	-	-	10	10
	冬・深夜	-	-	-	-	-	20	20

※ 被害が想定される断層モデルのみを記載。数値は「5以上1,000未満」は一の位を四捨五入、「1,000以上10,000未満」は十の位を四捨五入。「-」は5未満。「早期避難率高+呼びかけ」は津波避難ビル等を考慮した場合、「早期避難率低」は津波避難ビル等を考慮しない場合。

### 揺れによる要救助者数(人)、津波被害に伴う要救助者数(人)、 低体温症要対処者数(人)

断層モデル	要救助者数						低体温症要対処者数	
	揺れ			津波			冬・夕	冬・深夜
	夏・昼	冬・夕	冬・深夜	夏・昼	冬・夕	冬・深夜		
F01	30	100	130	-	-	-	-	-
F02F03(連動)	-	-	10	-	-	-	-	-

※ 被害が想定される断層モデルのみを記載。数値は「5以上1,000未満」は一の位を四捨五入、「1,000以上10,000未満」は十の位を四捨五入。「-」は5未満。

## ○生活への影響 避難者数(人)【冬・夕】

断層モデル	避難者総数			うち避難所避難者		
	直後	1日後	2日後	直後	1日後	2日後
F01	1,900	1,800	1,800	1,200	1,200	1,200
F02F03(連動)	950	700	690	620	450	450
F03D	780	530	520	510	340	330
F06	270	170	160	180	110	100
F06D	370	220	210	240	140	140
F07	30	20	20	20	10	10
F09	40	30	20	30	20	20

※ 被害が想定される断層モデルのみを記載。

※ 推計する避難者数は発災直後から数えて3日間の推移であり、人的被害(死者等)は考慮していない。

※ 数値は「5以上1,000未満」は一の位を四捨五入、「1,000以上10,000未満」は十の位を四捨五入、「10,000以上」は百の位を四捨五入。「—」は5未満。

## 要配慮者数(人)【冬・夕】

断層モデル	要配慮者								
	65歳以上の高齢単身者	5歳未満乳幼児	身体障がい者	知的障がい者	精神障がい者	要介護認定者	難病患者	妊産婦	外国人
F01	80	30	70	20	10	60	10	—	10
F02F03(連動)	30	10	20	10	—	20	—	—	—
F03D	20	10	20	—	—	20	—	—	—
F06	10	—	10	—	—	10	—	—	—
F06D	10	—	10	—	—	10	—	—	—

※ 「65歳以上の高齢単身者」の「要介護認定者」など、区分間で重複して計上されている場合がある。

被害が想定される断層モデルのみを記載。数値は「5以上1,000未満」は一の位を四捨五入。「—」は5未満。

## エレベータ内閉じ込め

断層モデル	エレベータ内閉じ込め				
	閉じ込め者数(人)			停止建物棟数(棟)	停止台数(台)
	8時	12時	18時		
F01	—	—	—	20	20
F02F03(連動)	—	—	—	10	10
F03D	—	—	—	10	10
F06	—	—	—	—	10
F06D	—	—	—	10	10

※ 被害が想定される断層モデルのみを記載。数値は「5以上1,000未満」は一の位を四捨五入。「—」は5未満。

## ○インフラ・ライフライン被害 道路・橋梁被害(箇所)

断層モデル	道路被害			橋梁被害		
	津波浸水域内	津波浸水域外	合計	交通支障	不通	合計
F01	—	20	20	10	10	30
F02F03(連動)	—	20	20	10	10	10
F03D	—	20	20	—	—	10
F06	—	10	10	—	—	—
F06D	—	10	10	—	—	—
F07	—	10	10	—	—	—
F09	—	10	10	—	—	—

※ 被害が想定される断層モデルのみを記載。数値は「5以上1,000未満」は一の位を四捨五入。「—」は5未満。四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

## 上水道・下水道利用困難人数(人)

断層モデル	上水道断水人口			下水道支障人口
	直後	1日後	2日後	直後
F01	3,700	3,300	3,300	720
F02F03(連動)	2,900	1,900	1,900	330
F03D	2,600	1,600	1,500	150
F06	920	530	510	70
F06D	1,200	700	670	150
F07	80	50	50	70
F09	80	50	50	70
F14_S12	—	—	—	30
F15	—	—	—	30

※ 被害が想定される断層モデルのみを記載。数値は「5以上1,000未満」は一の位を四捨五入、「1,000以上10,000未満」は十の位を四捨五入、「10,000以上」は百の位を四捨五入。「—」は5未満。

## 下水道復旧予測日数(日)

断層モデル	下水道復旧予測日数	
	被災市町村の作業人員の1/4で復旧	被災市町村の作業人員の1/2で復旧
F01	1か月程度	2～3週間程度
F02F03(連動)	1週間程度	2～3日間程度
F03D	1週間程度	2～3日間程度
F06	2～3日間程度	2～3日間程度
F06D	2～3日間程度	2～3日間程度
F07	1日以内	1日以内
F09	1日以内	1日以内
F14_S12	1日以内	1日以内
F15	1日以内	1日以内

※ 被害が想定される断層モデルのみを記載。

## 停電軒数(軒)【冬・夕】

断層モデル	停電軒数				
	直後	1日後	2日後	3日後	1週間後
F01	170	150	120	100	—
F02F03(連動)	10	10	10	10	—
F03D	10	10	—	—	—

※ 被害が想定される断層モデルのみを記載。数値は「5以上1,000未満」は一の位を四捨五入、「1,000以上10,000未満」は十の位を四捨五入。